様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人　四徳学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
保健科学部	リハビリテーション学科　理学療法学専攻（平成31～令和４年度入学生）	夜・通信	3	33	84	120	13	
	リハビリテーション学科　作業療法学専攻（平成31～令和４年度入学生）	夜・通信			76	112		
	リハビリテーション学科　理学療法学専攻（令和５年度入学生）	夜・通信	4	33	84	121	13	
	リハビリテーション学科　作業療法学専攻（令和５年度入学生）	夜・通信			81	118		
看護学部	看護学科（令和2,3年度入学生）	夜・通信	3		50	53	13	
	看護学科（令和４年度入学生）	夜・通信	3		90	93	13	
	看護学科（令和５年度入学生）	夜・通信	4		106	110	13	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学のホームページ上（四徳学園　情報公開）に公開
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/kikanyouken/

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名　なし
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

大学ホームページ上に公開
https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2023/06/21

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社社長	2021.2.15 ～2025.2.14	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社社長	2021.2.15 ～2025.2.14	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	株式会社会長	2021.4.1 ～2025.2.14	組織運営体制へのチェック機能
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<table>
<tr><td colspan="2">１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</td></tr>
<tr><td colspan="2">（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

授業計画書（シラバス）については、毎年 11 月より授業担当者が作成する。
その内容は、授業目標、学習目標、授業計画（授業の形式・回数・各回の概要）、テキスト・参考図書の提示、成績評価の方法、履修上の注意点などを記載。
単位認定・成績評価等をまとめた履修手引き及び学則・会則、学生生活に関する事項等をシラバスと併せて冊子の形態で「学生便覧」として、年度当初に学生全員に配布する。学生には年度当初、「学生便覧」をもとに、オリエンテーションを行っている。</td></tr>
<tr><td>授業計画書の公表方法</td><td>大学のホームページ上に公開
保健科学部
https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21RS_Syllabus.pdf

看護学部
旧課程
https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21k_Syllabus.pdf

新課程
https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2022/05/22k_Syllabus.pdf</td></tr>
<tr><td colspan="2">２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</td></tr>
</table>

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

各学生の学修成果を、シラバスで示した評価方法（前後期試験・レポート等）により評価し、あらかじめ提示してある成績評価方法・基準に従って単位認定・履修認定を教授会の議を経て学長が行う。

また、４年次の卒業研究では、各自が研究テーマを設定し、指導教官のもと研究を実施する。卒業研究発表会を行い、指導教官以外の教官の判断も加え評価し、教授会の議を経て学長が単位認定をする。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

学習状況を自己評価すること、学修の成果をより明確に表すこと、履修登録に責任を持つこと、を目的として GPA 制度を実施している。

成績評価を S・A・B・C・D に区分、C 以上を合格・単位認定として、それぞれ 4.0・3.0・2.0・1.0 を GP として与える。

総合評価のポイントとは、

GPA＝（各教科のポイント(GP)×各科目の単位数）/（履修登録の単位数）

で計算する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生に配布する「学生便覧」の「第９　履修に関する事項」⇒「７成績評価」⇒(4)GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度」に記載。 併せて大学ホームページ上に公開 **保健科学部** https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21RS_Syllabus.pdf **看護学部** https://shitoku.ac.jp/wp-shitoku/wp-content/uploads/2021/06/21k_Syllabus.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

建学の精神に基づき、教育研究活動を通じて保健医療分野の専門的・科学的な知識及び実践能力を備え、地域社会に貢献できる医療技術者の育成を目標に掲げ、以下に示した資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与し、卒業を認定している。卒業の判定にあたっては、保健科学部は、専攻会議で検討の上、学部で原案を作成し、卒業判定会議で学長が決定する。看護学部は、学部会議で原案を作成し卒業判定会議で学長が決定する。

保健科学部ディプロマポリシー

1　「四徳」の体得と「仁心」の構成
　a　医療従事者を志すものとして、高い倫理観を持っている。
　b　他者に共感し、悩める人の立場を理解できる。豊かな人間性を備えている。
2　妙術の基盤となる専門知識および技能の習得
　c　妙術（優れた知識・技能）の基盤となる専門知識と技能を習得している。
　d　幅広く深い教養及び総合的な判断力を備えている。
　e　他職種の学理を理解し、連携チームの中核となることができる実行力、協調性およびコミュニケーション能力を身につけている。
3　成長し続ける意志と力
　f　生涯にわたり専門性を高め、ニーズ・課題に向かう探究心を持っている。
　g　将来への目的意識を持ち主体的に学修、研究する能力を持っている。
　h　地域の課題に積極的に関わり地域に貢献する職業人としての意識を持っている。
　i　国際的な視野を養い、我が国が培ってきた保健・医療の知識・技術・制度を理解できる。

看護学部のディプロマポリシー

1　社会について基礎的知識に基づく論理的思考力、判断力、的確な表現能力を有する。
2　生命への畏敬の念、人権尊重、多様な価値観や個性を尊重する態度を有する。
3　人間・健康・社会の関係を体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした看護実践力を有する。
4　保健医療福祉の医療関係チームの一員として、多職種と連携・協働できる能力を有する。
5　自律した個人として継続的に看護学を探究する力を有する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	大学のホームページ上に公開 （トップページ⇒学部紹介⇒保健科学部、看護学部） 保健科学部 https://shitoku.ac.jp/faculty/health/ 看護学部　https://shitoku.ac.jp/facultu/nursing/

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人四徳学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/
収支計算書又は損益計算書	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/
財産目録	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/
事業報告書	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/businessproject/
監事による監査報告（書）	大学ホームページ上に公開 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/finance/

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	
中長期計画（名称：	対象年度：　　）
公表方法：	

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：大学のホームページ上で公開（トップページ⇒四徳学園⇒情報公開）
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/inspection/

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　保健科学部　看護学部
教育研究上の目的（公表方法：大学のホームページ上に公開 トップページ⇒四徳学園⇒情報公開⇒教育研究情報 https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/）
（概要） 長野保健医療大学は、人を慈しむ豊かな人間性と医療に関する高い知識や技能を備える「仁心妙術」の研鑽に励み、本学で得た知識や技能を、すべからく人類愛に基づき世界（四海）に広める気概を持って社会に貢献する「徳風四海に洽（あまね）く」を礎とした教育理念に基づき、有為な医療人としての知識技能、健康な心身と豊かな人間性を併せ持つ人材の教育を目指し、我が国の社会福祉の充実発展に寄与することを目的としている。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大学のホームページ上に公開 トップページ⇒学部紹介 保健科学部　https://shitoku.ac.jp/faculty/health 看護学部　https://shitoku.ac.jp/faculty/nursing）
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 建学の精神に基づき、教育研究活動を通じて保健医療分野の専門的・科学的な知識及び実践能力を備え、地域社会に貢献できる医療技術者の育成を目標に掲げ、下記に示した資質・能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与し、卒業を認定している。卒業の判定にあたっては、保健科学部は、専攻会議で検討し学部で原案を作成し、卒業判定会議で学長が決定する。看護学部は、学部会議で原案を作成し卒業判定会議で学長が決定する。 **保健科学部ディプロマポリシー** １　「四徳」の体得と「仁心」の構成 ａ　医療従事者を志すものとして、高い倫理観を持っている。 ｂ　他者に共感し、悩める人の立場を理解できる。豊かな人間性を備えている。 ２　妙術の基盤となる専門知識および技能の習得 ｃ　妙術（優れた知識・技能）の基盤となる専門知識と技能を習得している。 ｄ　幅広く深い教養及び総合的な判断力を備えている。 ｅ　他職種の学理を理解し、連携チームの中核となることができる実行力、協調性およびコミュニケーション能力を身につけている。 ３　成長し続ける意志と力 ｆ　生涯にわたり専門性を高め、ニーズ・課題に向かう探究心を持っている。 ｇ　将来への目的意識を持ち主体的に学修、研究する能力を持っている。 ｈ　地域の課題に積極的に関わり地域に貢献する職業人をしての意識を持っている。 ｉ　国際的な視野を養い、我が国が培ってきた保健・医療の知識・技術・制度を理解できる。 **看護学部のディプロマポリシー** １　社会について基礎的知識に基づく論理的思考力、判断力、的確な表現能力を有する。

２　生命への畏敬の念、人権尊重、多様な価値観や個性を尊重する態度を有する。
３　人間・健康・社会の関係を体系的に理解し、地域を知り、専門知識・技術を基盤とした看護実践力を有する。
４　保健医療福祉の医療関係チームの一員として、多職種と連携・協働できる能力を有する。
５　自律した個人として継続的に看護学を探究する力を有する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学ホームページ上に公開）
トップページ→四徳学園→情報公開→教育研究情報
(https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/)

（概要）

保健科学部

理学療法学専攻・作業療法学専攻ともに教養科目、専門基礎科目、専門科目の３つの領域から構成されている。

教養科目では、社会人としての教養と責任感、コミュニケーション能力、問題解決能力、能動的学習姿勢を身につけ、専門領域への関心と意欲を高めるための広範な科目を学修する。

専門基礎科目では、専門領域の理論および技術の根幹をなし、医療人としての倫理観、社会的責任を培うための科目を学修する。

専門科目では、それぞれの専門領域における理論と実践的技術を学修し活用できるようにするため、実習・演習科目を置いている。

看護学部

１　社会の諸課題についての基礎的知識を学修するために、基礎分野に人文科学、社会科学、自然科学、体育学を、専門基礎分野に「人間と環境」、「環境と健康」を配置いている。
２　論理的な思考、判断、的確な表現能力を育てるために、基礎分野に「大学基礎セミナーⅠ・Ⅱ」、「外国語科目」を配置している。
３　生命への畏敬の念を育て、人権尊重の態度を身につけるため、基礎分野に「日本国憲法・法学」、専門基礎分野に「生命倫理」を、多様性や個性を尊重する態度を育てるために、基礎分野に「文化人類学」、専門基礎分野に「健康科学概論」を、専門分野では「早期体験実習」している。（旧課程では、専門科目に「ヒューマンケア論」、「ヒューマンケア体験実習」を配置している。）
４　人間・健康・社会の関係を体系的に理解するために、基礎分野に「人間関係論」、「文化人類学」、専門基礎分野に「保健科学概論」、「保健医療福祉行政論」を、地域を知るために、基礎分野に「信州学」、専門分野に「成人看護学方法論Ⅰ・Ⅱ」を配置している。
５　専門知識・技術を基盤とした看護実践能力の学修のために、モデル・コア・カリキュラムを参照し専門基礎分野、専門分野、臨地実習を構成している。
６　看護学研究能力を育成するために、3 年次に「看護研究法」を、4 年次に「看護課題探究Ⅰ・Ⅱ」を配置している。（旧課程では、3，4 年次に「看護課題探究」、「看護研究法」を配置している。）
７　自律的な学修能力の滋養を目指し、外国語科目を１～４年次にわたり、「英語Ⅰ・Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「医学英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」（原著医学看護学論文の講読を含む。）を配置している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学のホームページ上に公開
トップページ→入試情報→募集人員上
https://shitoku.ac.jp/admissions/admissionpolicy/）

（概要）

保健科学部

「幅広い人間性」、「高い専門知識」、「地域への貢献」、「グローバル社会に生きる」人材を育成するために、また、専門性を追求するだけでなく、社会の変化や技術の進歩に対応し、様々な専門職との連携を図ることが必要であるため、以下に示す方針で学生募集及び入学者の選抜を行う。

①他者とのコミュニケーション能力をもち、他者の喜び、悩みに共感できる人
②仲間と協調した行動ができる人
③社会への関心をもち、社会貢献に意欲をもつ人
④大学生として日常生活を自律的に管理できる生活習慣をもつ人
⑤善きことを求め、努力をする意志がある人

上記の資質に加え、

・高校教育では、「国語」、「英語」の基礎的読解力、表現力を修得していること。
・「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」のいずれか一科目以上を履修していること。

看護学部

大学教育を受けるに相応しい基礎学力に加えて、拡大し多様化する看護職者の役割を理解し、生命への畏敬の念を持ち、人を思いやる心を持ち、幅広い基礎知識と応用力、たゆみない探究心により社会に対して積極的に関わろうとする意欲がある学生を求める。

専門性を追求するだけでなく、社会の変化や技術の進歩に対応し、様々な専門職との連携を図ることが必要であるため、以下に示す方針で学生募集及び入学者の選抜を行う。

①他者とのコミュニケーション能力をもち、他者の喜び、悩みに共感できる人
②仲間と協調した行動ができる人
③社会への関心をもち、社会貢献に意欲をもつ人
④大学生として日常生活を自律的に管理できる生活習慣をもつ人
⑤善きことを求め、努力する意志がある人
⑥大学教育を受けるに相応しい基礎学力がある人

さらに、看護師・保健師を目指す質の高い専門職業人の育成を目的としていることから、志望動機、職業への理解など目的意識を見極める面接試験を行う。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学のホームページ上に公開
（トップページ→四徳学園→情報公開→教育研究情報）
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	４人	－					４人
保健科学部	－	６人	４人	４人	５人	人	19 人
看護学部	－	５人	３人	６人	10 人	１人	25 人
共通教養センター	－	１人	１人	１人	人	人	３人
地域保健医療研究センター	－	２人	人	人	人	人	２人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	106 人	106 人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：https://shitoku.ac.jp/facultu/teacher/

c. ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

FD・SD 委員会として活動を進めている。授業評価アンケート、ハラスメント研修会、新任教職員研修会、年度末全学業績報告会等を実施している。令和２年度から IPE（専門職連携教育）の充実のため、全教職員対象に研修会を実施している。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
保健科学部	80 人	86 人	107.5%	320 人	347 人	108.4%	0 人	0 人
看護学部	80 人	79 人	98.8%	320 人	325 人	101.6%	0 人	0 人
合計	160 人	165 人	103.1%	640 人	672 人	105%	0 人	0 人

（備考）

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
保健科学部	87 人 (100%)	0 人 (0%)	84 人 (96.6%)	3 人 (3.4%)
看護学部	83 人 (100%)	1 人 (1.2%)	76 人 (91.6%)	6 人 (7.2%)
合計	170 人 (100%)	1 人 (0.6%)	159 人 (93.5%)	10 人 (5.9%)

（就職先）（任意記載事項）

■北信

保健科学部（14 施設）

上山田病院　篠ノ井総合病院　新生病院　竹重病院　千曲中央病院　鶴賀病院　長野市民病院　長野中央病院　長野松代総合病院　国立東長野病院　三本柳整形外科クリニック　長野整形外科クリニック　介護老人保健施設ゆたかの　（株）ライフケア（放課後デイサービス）

看護学部（９施設）
篠ノ井総合病院　篠ノ井橋病院　県立信州医療センター　新生病院　長野市民病院　長野赤十字病院　長野中央病院　長野松代総合病院附属若穂病院　北信総合病院

■東信
保健科学部（７施設）
上田病院　鹿教湯三才山リハビリテーションセンター　くろさわ病院　佐久総合病院　丸子中央病院　上田整形外科内科　森口コモクリニック

看護学部（４施設）
国立信州上田医療センター　千曲荘病院　国保依田窪病院　佐久平エンゼルクリニック

■南信
保健科学部（４施設）
輝山会記念病院　諏訪湖畔病院　諏訪中央病院　富士見高原医療福祉センター

看護学部（１施設）
茅野市役所（保健師）

■中信
保健科学部（10 施設）
相澤病院　一之瀬脳神経外科病院　上條記念病院　北アルプス医療センターあづみ病院　倉田病院　城西病院　松本協立病院　松本中川病院　丸の内病院　介護老人保健施設ハーモニー

看護学部（６施設）
相澤病院　安曇野赤十字病院　北アルプス医療センターあづみ病院　信州大学医学部附属病院　国立中信まつもと医療センター　松本協立病院

■県外
保健科学部（14 施設）
赤羽リハビリテーション病院（東京）　永生病院（東京）　高島平中央総合病院（東京）　原宿リハビリテーション病院（東京）　総合川崎臨港病院（神奈川）　新横浜リハビリテーション病院（神奈川）　圏央所沢病院（埼玉）　久喜すずのき病院（埼玉）　新八千代病院（千葉）　一宮温泉病院（山梨）　巨摩共立病院（山梨）　甲府脳神経外科病院（山梨）　国立宇都宮病院（栃木）　介護老人保健施設保倉の里（新潟）

看護学部（15 施設）
国立がん研究センター中央病院（東京）　国立国際医療研究センター（東京）　北里大学北里研究所病院（東京）　杏林大学医学部附属病院（東京）　東京医科大学病院（東京）　虎ノ門病院（東京）　済生会横浜市南部病院（神奈川）　埼玉県立小児医療センター　行田総合病院（埼玉）　千葉大学医学部附属病院　順天堂大学医学部附属浦安病院（千葉）　知命堂病院（新潟）　常滑市民病院（愛知）　社会医療法人大雄会（愛知）　京都第二赤十字病院

（進学先）（任意記載事項）
看護学部
聖隷クリストファー大学助産学専攻科（静岡）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

授業計画書（シラバス）については、毎年 11 月より授業担当者が作成する。その内容は、授業目標、学習目標、授業計画（授業の形式・回数・各回の概要）、テキスト・参考図書の提示、成績評価の方法、履修上の注意点などを記載。

単位認定・成績評価等をまとめた履修手引き及び学則・会則、学生生活に関する事項等をシラバスと併せて冊子の形態で「学生便覧」として、年度当初に学生全員に毎年配布する。学生には年度当初、「学生便覧」をともにオリエンテーションを行っている。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

各学生の学修成果を、シラバスで示した評価方法（前後期試験・レポート等）により評価し、あらかじめ提示してある成績評価区分に従って単位認定・履修認定を教授会の議を経て学長が行う。また、４年次の卒業研究では各自が研究テーマを設定し、指導教官のもと研究を実施する。卒業研究発表会を行い、指導教官以外の教官の判断も加え評価し、教授会の議を経て学長が単位認定をする。

学習状況を自己評価すること、学修の成果をより明確に表すこと、履修登録に責任を持つことを目的として GPA 制度を実施している。成績評価をＳ・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄに区分、Ｃ以上が合格・単位認定とし、それぞれ 4.0・3.0・2.0・1.0 をＧＰとして与える。

学部名	学科名	卒業に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
保健科学部	リハビリテーション学科	（理学 H31～R4 年度入学生）134 単位	有・無	単位
		（理学 R5 年度入学生）134 単位	有・無	単位
		（作業 H31～R4 年度入学生）138 単位	有・無	単位
		（作業 R5 年度入学生）138 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	（R2,3 年度入学生）124 単位	有・無	単位
		（R４年度入学生）127 単位	有・無	単位
		（R５年度入学生）126 単位	有・無	単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学ホームページ上に公開
（トップページ⇒四徳学園⇒情報公開⇒教育研究情報）
https://shitoku.ac.jp/corporation/disclosure/education/
大学案内パンフレット（大学説明会、オープンキャンパス等において配布）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
保健科学部	リハビリテーション学科	900,000 円	200,000 円	500,000 円	実験実習費、施設整備費、教材図書費
看護学部	看護学科	900,000 円	200,000 円	500,000 円	実験実習費、（2 年目以降は +120,000 円）、施設整備費、教材図書費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）　長野保健医療大学　独自奨学金　※学部単位での支給

＜新入生対象＞

〇特別奨学制度

・特別奨学生Ｓ　４年間の授業料（360 万円）の免除　１名（一般Ⅰ期入試の合格者対象）

・特別奨学生Ａ　１年次授業料の 1/3（30 万円）を免除 3 名（一般Ⅰ期入試の合格者対象者）

＜在学生対象＞

・特別奨学生Ｂ　半期授業料の１／３（15 万円）を免除、新 2，3 年生より各学年１名

・家計急変者等援助　授業料の１／３（30 万円）を上限として免除　若干名

b.進路選択に係る支援に関する取組

（概要）

国家試験合格に向けての対策講座、一人ひとりへの支援の充実により高い合格率の維持継続を目指す。

４年間をとおしたキャリア形成教育、専任教員による支援などをとおして、一人ひとりに寄り添った就職サポート体制を構築している。

c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）

健康管理センターが適時適切に情報を発信するとともに、学生の心身の健康状態の把握、健康指導等を実施している。

教員が学生の自由な来室に対応するため、オフィスアワー制度を実施。専攻に関わらず学生は教員に相談することができる。また、保健科学部は学年ごとにクラス担任が、看護学部は少人数のグループごとにアドバイザーが付き、学生の様々な相談を受ける体制となっている。さらに、公認心理士が１ヶ月に３回程度の割合で来学し、学生の相談を受けるとともに、事務部門でも相談を受けるなど、多くのチャンネルを用意し、学生生活の充実を支援している。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：長野保健医療大学リポジトリとして紀要を公開
https://nuhm.repo.nii.ac.jp/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F120310105866
学校名	長野保健医療大学
設置者名	学校法人　四徳学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		64人	57人	68人
内訳	第Ⅰ区分	26人	31人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				68人
（備考）				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	0人		
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	–		
計	–		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期		後半期	

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人		
ＧＰＡ等が下位４分の１	–		
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	–		
計	–		
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。